

『ちちとちちとちち』

〔登場人物〕

南……娘。中学三年生。

母……南の母。キャリアウーマン。

南、学校が終わり、家へと帰ってくる。

ただいま……わあ……。

リビングには、大量の洗濯物が積まれている。

南、洗濯物を避けながら自分の部屋に荷物を置き、父の部屋に向かって、

南
ただいま。お父さん、お父さん……？

部屋の中に向かって呼びかけるも、反応は無い。

南、他の部屋も覗いて父を探すも見つからず、よろよろと洗濯物の山にダイブする。

そこへ、買い物袋を両手に持った母が、仕事から帰ってくる。

母
ただいま。

南
おかえり……。

母
（洗濯物にまみれて倒れている南を見て）あんた何やってんの？

南
私は何もやってない。

母
じゃ、なにこれ。

南
多分お父さん……。

母
ああ！なんだ、（父の部屋に向かって）お父さん、

南
いないよ。

母
あ？

南 お父さんいない。

母 あら珍しい。

南 珍しいじゃなくて、え、大丈夫かな、どこ行ったかとか聞いている？

母 聞いてないけど、散歩でも行ったんじゃないの？

南 散歩？！

母 うん散歩。行って来いって言ったの、家の中で毎日ジメジメチンタ

ラしてるなら、たまには散歩して気分でも入れ替えてこいって。

南 はあ……。

母 まあいいじゃん、ゆつくりご飯の準備でもしよー。

南 え、(洗濯物を指し)これは？

母 ああ、これやって、ご飯か。

南 そうしてくれると助かるけど……。

母 (買い物袋を示し)とりあえずこれ、冷蔵庫入れてくるわ。

南 うん。

母、買い物袋を持って、台所へと消えていく。

南、仕方なく洗濯物をたたみ始めるが、洗濯物の山の中から携帯電話を見つけ。見覚えのあるその携帯電話は、父のものである。

南 お母さーん、

母 (奥から声だけで)なーにー、

南 お父さん、携帯置いてってる。

母 あー、よっぽどネット社会に疲れたのねー。

南 え、本当に大丈夫かな。

母 何が？

南 お父さん。

母 さあ、大丈夫なんじゃない？

南 死んだりしてない？踏切とか、首吊りとか、

母 もしもうやっちゃつてるとしたら、私に連絡来てるわよ、しかるべきところから。

南 そうだけど、ええ……。

母 お父さんだって子供じゃないんだから。

南 そうだけど、

母 良いのよ、ほっときなさい。お父さんだって探されるとか思ったら、ごめんなさいごめんなさいって、ほら、いつもみたくなっちゃ

うでしょう？せっかく出かける気分になったんだから、好きにさせてあげれば良いの。

南 ……はい。

南 ……はい。

南、いまいち納得がいかず、手にした父の携帯電話をこっそり見始める。WEBのページを開くと、「うつ病チェッカー」の結果が残っている。

南 うつ病チェッカー診断結果……

南、それを読み上げていく。

【1、体がだるく疲れやすいですか YES】

【2、イライラしがちですか YES】

【3、最近気が沈んだり気が重くなることはありますか YES】

【4、朝のうち特に無気力ですか YES】

【5、何をすることもやる気が出ませんか YES】

【6、他人に関心が持てますか NO】

【7、自分の将来に希望が持てますか NO】

【8、眠れないで朝早く目覚めることがありますか YES】

【9、事故や怪我をしやすいですか YES】

【10、仕事の能率が上がり何をするにも億劫ですか YES】

【11、本来は仕事熱心で几帳面ですか YES】

【12、自分はダメな人間だと思えますか YES】

【13、自分の人生がつまらなく感じますか YES】

【14、死にたいと思うことはありますか YES】

【15、性欲はありますか YES】

南 (15の結果に驚いて) い、いえすっ?!え、えー?!

そこへ母、部屋着になって登場する。

南、急いで携帯を隠そうとするも、母に呆気無く没収される。

母 あんたの携帯も読み上げてやろうか。

母 嫌だ、

母 じゃあやんないの、人にやられて嫌なことは

母 ……。

母も南と同じく、座って洗濯物をたたみ始める。

母 まあ、気になるけどね。

母 気になるんじゃない。

母 なるよ、人間だもの。

母 別に私だって、お父さんどこ行ったのかとか、何かわかるというな

母 っと思って見ただけだもん。

母 それで何、エロサイトでも見つけたの?

母 エロ、ああ、エロ、エ、(混乱)

母 刺激が強すぎたかしら。

母 ああ、うーん?ああ、いや、(混乱)

母 ああごめん、苦手だもんね。

母 いやいや、はあ……。

母 学校でそういう話とか、ならないの?

母 してる人も、いる。

母 お年ごろだもんね。

母 私はしないけど、分かんないから。

母 私が中三の時なんて、もーすごかったわよ、チンだのマンだの。

母 あー……。

母 そのうちなるわよ、チンだのマンだの。

母 はあ……。

母 うそうそ。大丈夫、お父さんなんて全然言わないでしょ、そういう

母 こと。

母 それは、「お父さん」だから。

母 お父さんが「お父さん」じゃなかった頃から言わなかったわよ。
南 あ、へえ……。
母 よく私と付き合ったなあの人……。
南 本当に。
母 ね。
南 にしても、なんでお母さんみたいにならなかったんだろ、私。
母 あー、この母だからこそ、こうなったんじゃない？
南 え？
母 家族全員私みたいだったら大変でしょ？
南 う、うん。
母 だから。担当みたいなのが各々なるとな〜く振り分けられてるの
よ。お父さんは「お父さん」っていう係、お母さんは「お母さん」
っていう係、あんたは、
南 娘。
母 そうそう。
南 なるほどねー。
母 あとは……やっぱあんたはお父さん似ね。
南 それ、よく言うけど絶対そんなことない。
母 嫌なの？
南 ……。
母 嫌だとして、何が嫌なの？
南 なんか、んー……。
母 問題は出来るだけ明確に分析しなさい。
南 あーもー、職場モードのお母さん嫌い！

母 ごめんごめん。
南 ……。
母 まあ、何となくわかるから。
南 ……不安になる、見ると。
母 お父さんのことが？自分のことが？
南 ……どっちも。
母 ……。
南 はあ……。
母 まあ、私とあんたが同じように育たなかったように、たとえても
別物だから、お父さんとあんたは。
南 わかっている。
母 わかっているなら、もう怖いもの無しね。
母、洗濯物の中から南のスポーツブラを手に取り、
南 あんた、まだこれつけてるの？
母 え、うん。
南 ワイヤー入りを使いなさい、こぼれちゃうから。
南 いいよ、そんなに無いし……。
母 (サイズのタグを見て) あー……。
南 栄養は足りてます、毎日ご飯おいしいです。
母 なら良いんだけど。
南、洗濯物の中から母のブラジャーを手に取り、

南 じゃあ、お母さんこそさ、こんなに派手な必要くない？だって誰に見せるわけでもないんでしょ？

母 うん、見せるわけではない。

南 じゃあなんで？

母 なんてって、え、なんで……。

南 お父さんが、これが良いって言ったの？

母 いやそれはない。

南 あ、はい……。

母 ……下着ぐらい選んでくれたって良いのに、ねー。

南 え、あー、

母 なんて。

南 ……。

母 とかいつて、私が着たいの着るんだけど。え、ダメ？その柄。

南 うーん……なんか、恥ずかしい。

母 恥ずかしいって、服着てりや見えないでしょ！え、あんた人の下着透視できるの？

南 いやいやいや、そうじゃなくて、えー、だってなんか、うーん……。

母 何、

南 恥ずかしい、としか……。

母 それは、派手なブラジャーそのものが恥ずかしいの？それともい歳したババアが派手なブラジャー着てるのが恥ずかしいの？

南 ああ、前者です。

母 まあ、実際、いい歳したババアが派手なブラジャー着てるんだけど。

南 いや別にそれは……。

母 でもこっちは、いい歳した女の子が地味なスポブラ着てるもんね。

南 それはいいでしょ。

母 垂れるわよ。

南 はあ……。

母 まあしかし、よくもこんなに一気に洗濯したな、なかなか終わらん。

南 信じらんない。

母 そういう気分だったんだって、多分。

南 気分で洗濯して、気分を取り込んで、気分で散歩行って……。

南 たまにはサボったっていいの。

母 お父さんはずっとサボってる。

南 いいのよお父さんは、ずーっとここまで頑張ったんだから。しかも毎日掃除して、洗濯して、ごきげんよう観て、ちゃんとやることやつてるでしょ。

南 ごきげんようは関係ないし。

母 主婦の大事なたしなみよ。

南 えー、でも私だって頑張ってるし。

母 そうだね。

南 え、じゃあ、私も宿題サボる。

母 いいよ。

南 いいの？！

母 いずれ後悔するのはあんたよ。

南 しないしない、絶対しない。

母 学期末がたのしみー。

南 ……。

母 ま、これは何を楽とするかの話だから。いま頑張った後に楽するか、いま楽して後に頑張るか。ね。

南 そうだけど……。え、じゃあお母さんだって、頑張ってるじゃん。

母 毎日仕事行ってさ、帰ってきたら料理もして。だからサボりだよ。

南 え、サボってるよ？

母 へ？

南 サボってるサボってる、だって週一で外食行くでしょう、あれ、サボってるから。

母 ああ、ええ？

南 ご褒美だと思ってたでしょ、いや、もちろんそうだけど、それ以上に、おサボりだから。

母 なんか、聞きたくなかった……。いいのよ、所詮そんなもんなんだから。

南 母、豊んだタオルをひとまとめにし、

母 はいこれ、先にしまってきて、邪魔だから。

南 あ、わかった。

南 母がまとめたタオルの山をしまいにいく。

母、南がいなくなったのを確認して、父の携帯を見始める。

父 タオルをしまった南が部屋に帰ってくるが、母は気づかず、父の携帯を見つめる母をこっそり見ている。

母、携帯をしまい、再び服を畳み始める。

南 あとはー？

母 とりあえずいいや、ありがとう。

南 はい。

母 そろそろ夕飯仕込みたいけど、何時頃帰ってくるかな。

南 っていうか帰ってくるかな。

母 帰ってくるわよ。

南 その根拠は？

母 無い。

南 も……。でも、もし帰ってきたときにご飯無かったら、お父さんそれこそど

母 つかから飛ぶわよ。

南 めんどくさ……。めんどくさいわよ。

母 じゃあ何で一緒にいるの？

南 えー？そりゃ夫婦だから。

母 でもめんどくさいんでしょ？

南 それ言ったらあんただってよっぽどめんどくさいからね。

母 ええ？！

南 あんたにじゃんじゃんおっぱいあげて、そしたらじゃんじゃん吐

母 いて、じゃんじゃんうんちして、じゃんじゃんおむつ替えて、そう

南 してあなたは大きくなったのよ。

母 昔の話じゃん。

南 昔が無かったらあなたはいないのよ。

母 まあそうだけ。

南

母

南

母 もっと言えば、そのめんどくさいお父さんと私がいなけりや、あん

た生まれてないんだけどね。あー、めんどくさい。

めんどくさいなら一緒にいなくなつていいのに。

ねー……。

……。

(父の洗濯物の束を南に渡し) これ、お父さんの部屋。

はいはい。

南、父の洗濯物を持って父の部屋へ向かう。

母、残りの洗濯物をどんどん畳み、積んでいく。

南、リビングに戻ってくる。

南 ああ、ありがとう。

母 もうちよつと普段から手伝つてくれればねえ、畳むのも早くなるのに。

南 うるさい。

母 はい、おしまい。

洗濯物を全て畳み終わる。

南のものど母のもの、それぞれが高く積み上がり、置かれている。

南 ご飯なに？

母 何でしょう。

南 えー……、ピーマンの肉詰め。

母 ……あんた冷蔵庫の中見たでしょう。

南 え、見てない見てない、え、あつてる？

母 大正解。

南 おー。でもなんか、自信あつた。

母 なんて？

南 なんか、作りそうだなつて。

母 ふーん。

二人共、気づけば洗濯物の山に頬杖をつき、同じ格好をしている。

南 お父さん、帰ってくるかな。

母 帰ってくるわよ。

無断複製・転写を禁じます。

作品に関するお問い合わせ、上演許可等につきましては、カミグセ (info@kamiguse.com)までお問い合わせください。